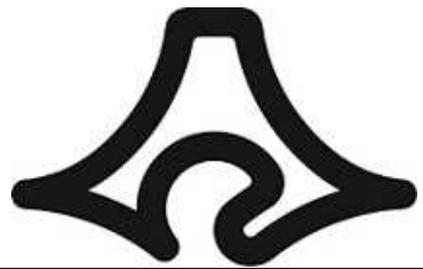


提供日 2024/08/22  
 タイトル 産業廃棄物の実態調査結果（令和4年度実績）  
 担当 暮らし・環境部 環境局廃棄物リサイクル課  
 連絡先 産業廃棄物班  
 TEL 054-221-2423



**産業廃棄物の実態調査結果（令和4年度実績）**  
 ～排出量は減少、最終処分量は増加～

産業廃棄物の排出事業者及び処理業者から提出された令和4年度分の報告を基に行った実態調査の結果を取りまとめました。

**1 調査結果の概要**

- 排出量は9,408千トンであり、前年度（9,530千トン）より122千トン（1.3%）減少しました。
- 最終処分量は232千トンであり、前年度（228千トン）より4千トン（1.9%）増加しました。

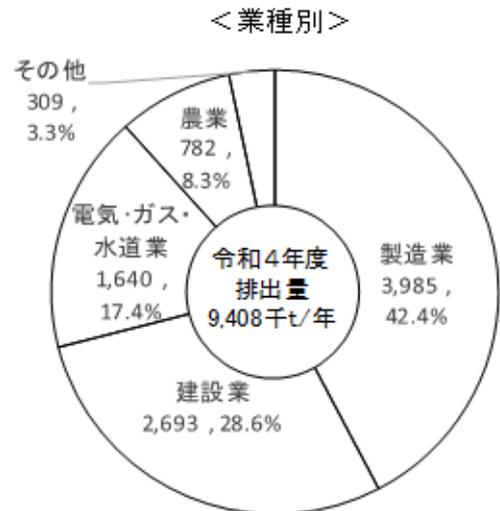
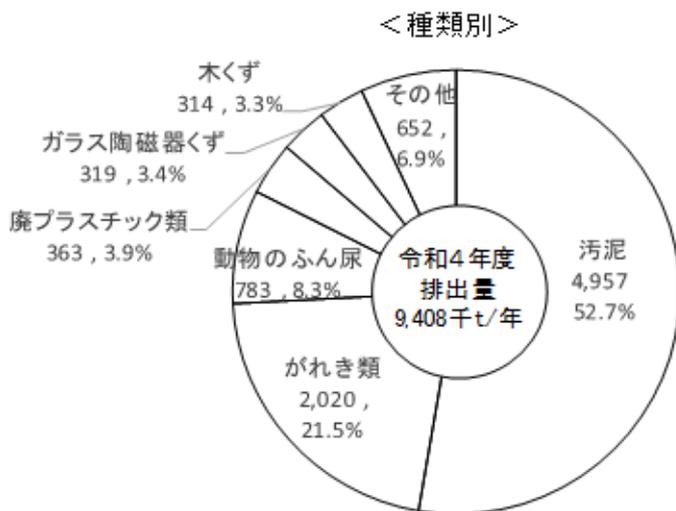
（単位：千トン）

区分	令和3年度実績	令和4年度実績	目標値(※)
排出量	9,530	9,408	—
最終処分量	228	232	229
再生利用量	4,220	4,146	—

※第4次静岡県循環型社会形成計画における毎年度の目標値

**2 排出量**

- 種類別では、汚泥、がれき類及び動物のふん尿の上位3品目で排出量の約82%を占めました。
- 業種別では、製造業、建設業及び電気・ガス・水道業の上位3業種で排出量の約88%を占めました。
- 前年度に比べ、建設業のがれき類（70千トン減少）、製造業の汚泥（57千トン減少）が減少しました。

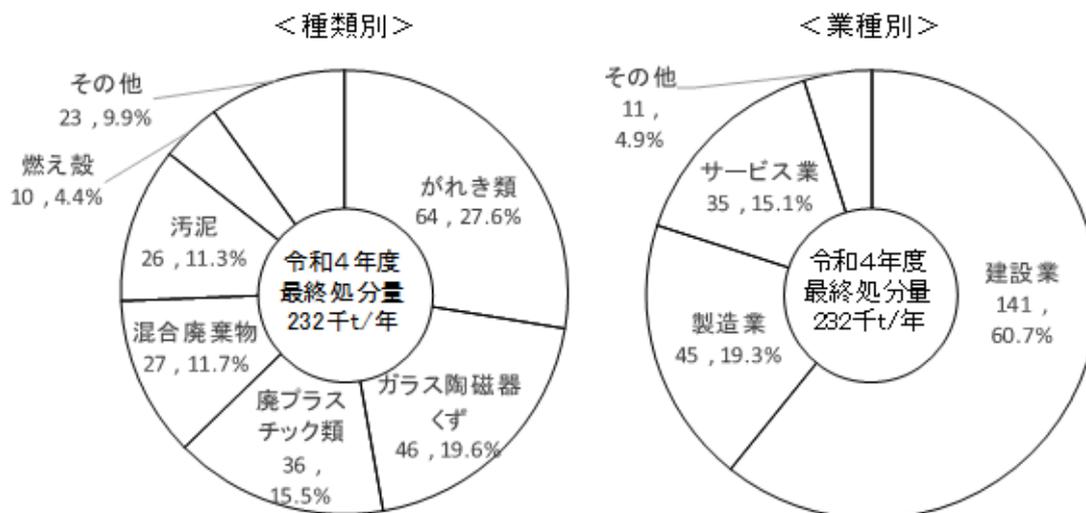


### 3 最終処分量

○種類別では、がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類及び混合廃棄物の上位4品目で最終処分量の約74%を占めました。

○業種別では、建設業、製造業及びサービス業の上位3業種で最終処分量の約95%を占めました。

○前年度に比べ、建設業のガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(10千トン増加)が増加しました。



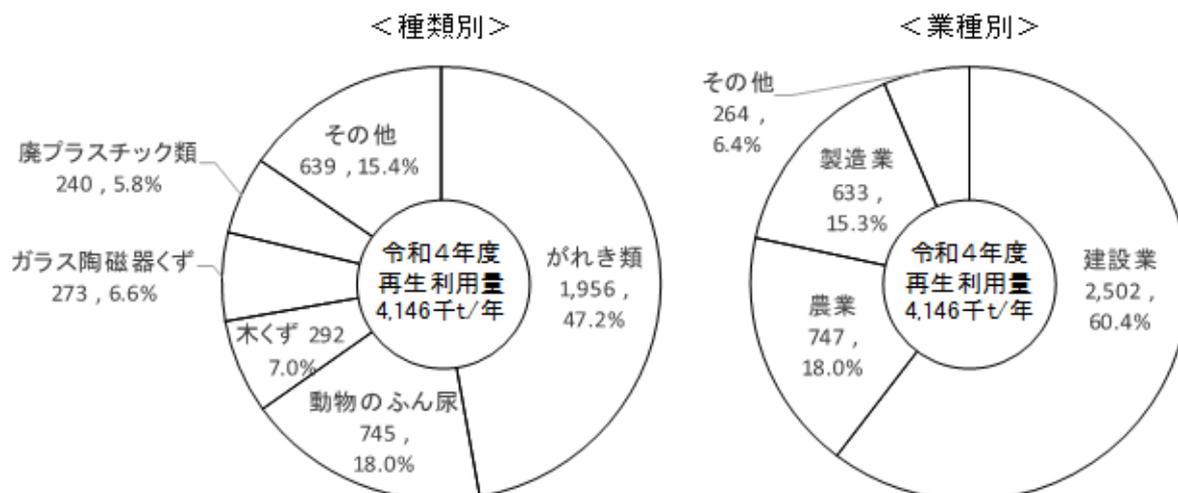
### 4 再生利用量

○再生利用量は4,146千トンで、前年度(4,220千トン)より74千トン(1.8%)減少しました(再生利用率は44.3%から44.1%に低下)。

○種類別では、がれき類、動物のふん尿及び木くずの上位3品目で再生利用量の約72%を占めました。

○業種別では、建設業、農業及び製造業の上位3業種で再生利用量の約94%を占めました。

○前年度に比べ、建設業のがれき類(72千トン減少)が減少しました。



※数値は四捨五入しているため、割合や合計値が合わない場合があります。